CAD基礎(建築)(Basic CAD Practice (Architectural Theme))

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
土木建築	必修	4 年前	1	演習	古田健一

【授業の概要】
JW CAD を用いて描いた設計図を VectouWorks を用いても負担感なく自由に作成できるようになることを目的とし演習をすすめる。演習の題材として建築物の図面を書けるようになるために、3 年次に工学デザイン基礎 III で作成した図面を用いる。

【授業の進め方】
作図方法が分からない時に自由に質問し、その場で解決しながら演習をすすめる。

【授業計画】	【授業項目】	【内　容】
1 回	演習課題 1 課題の説明と作図上の注意	課題の主旨説明と図面の用紙の大きさや縮尺、レイヤ構成に関する説明。[学習シート 01]
2 回	1 階平面図	演習 [学習シート 02]
3 回	2 階平面図	演習 [学習シート 03]
4 回	3 階平面図（または屋根伏図）	演習 [学習シート 04]
5 回	断面図 1	演習 [学習シート 05]
6 回	断面図 2	演習 [学習シート 06]
7 回	立面図（東、西）	演習 [学習シート 07]
8 回	中間試験	簡単な建築物の平面図などの作図が目標時間内できることを確認するための試験。
9 回	答案返却と解説 立面図（南、北）	演習 [学習シート 08]
10 回	演習課題 2 透視図の書き方の解説	第 2 課題の 3 次元作図機能の解説。[学習シート 09]
11 回	透視図作成（1）	演習問題 1[学習シート 10]
12 回	透視図作成（2）	演習問題 2[学習シート 11]
13 回	透視図作成（3）	演習問題 3[学習シート 12]
14 回	透視図作成（4）	演習問題 4[学習シート 13]
	期末試験	単純な構造物の平面図、立面図から 3 次元 CG の作成が目標時間内できることを確認するための試験。
15 回	答案返却など	採点基準等解説。未完成課題の完成。
【到達目標】	建築物設計に必要な平面図、立面図、断面図、透視図が CAD で適切な時間で作成できることを目標とする。	

【徳山高専学習・教育目標】	B1	【JABEE 基準 1(1)】	c-3

【評価法】	1）2回の試験結果を５０％、演習課題５０％で総合評価する。 2）学年末評価計算式 最終評価点＝（前期中間＋前期末＋演習課題 200 点満点）／4
【テキスト】	教科書:VectorWorks2008 学習帳 (エクスナレッジ) 山野大星/福田一志
【関連科目】	CAD 応用 (建築) 4 年
【成績欄】	前期中間試験　前期末試験　前期成績　後期中間試験　後期末試験　学年末成績 【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】